

<スクールアルバム>

青空の元、風揚げ。舞い上がり！
(小学部)



のありと(宿泊学習 小5以上)
学年を越えて讚美に、分かち合いに盛沢山



特別活動(小1~4)
親への感謝を学び、カード、クッキーの
プレゼントを作りました



お願い・ご報告

- 1月の行事は、主の守りの中一つ一つが祝福のうちに行われました。皆さまのご協力感谢您します。
- 3月26日(木)9時30分より、クリスタルチャペルのワックスがけを行います。保護者・スタッフの皆さまのご協力が必要です。ぜひご都合をつけていただき、短時間でも構いませんので、お手伝いをお願いします。
- 学校法人取得に向けて、スクール関係者の皆さまのお祈りをよろしくお願ひいたします。法人を取得するためには、多くの問題・課題がありますが、神さまが一つひとつ解決して下さること信じて、取り組みたいと思います。ご協力をお願いします。
- 新年度に向けて準備が始まっています。新入生が多くあるように、また、スタッフの体制や学習の環境が整えられ、カリキュラム等の準備も整えられるようお祈りください。

以下、3月のスケジュールをご確認ください。

◆3月のスケジュール

- 2日(月)4限授業(14時下校)
- 3日(火)3限授業 午後、卒業式リハーサル(ダイヤモンドチャペル移動)(15時下校)
- 4日(水)3限授業・昼食あり(12時45分下校)
- 5日(木)~10日(火)3限授業・昼食あり(13時下校)
- 5日(木)卒業記念行事(小5、6)
- 10日(火)授業終了 昼食終了
- 11日(水)スポーツ・レク大会(2、3限)(12時30分下校)
- 12日(木)机・椅子移動 学習発表会リハーサル(1、2限) 大掃除(3限)(12時30分下校)
- 13日(金)修了式 日本語暗唱聖句・英語暗唱発表 学習発表会(12時30分下校)
- 14日(土)卒業式(9時~ ダイヤモンドチャペル)(11時前後下校)
- 16日(月)代休
- 17日(火)~4月3日(金)春休み
- 26日(木)クリスタルチャペルワックスがけ(保護者・スタッフ)
- 4月6日(月)入学・進級式

今月のみことば(暗唱聖句)

「わたしは彼らの悲しみを喜びに変え、彼らの憂いを慰め、楽しませる。」エレミヤ書31:13b
「I will turn their mourning to joy, Will comfort them, And make them rejoice rather than sorrow.」Jeremiah 31:13b

祈禱課題

- 1、スクール関係者すべてのうちに神の愛と守りと喜びが満ちるように。
- 2、のありとで受けた恵みをさらに深めて、一人ひとりが決心したことを実行できるように。
- 3、高校生の進路のために。
- 4、徐々に開かれていく学校法人化への道を信仰持って皆で進んで行けるように。
- 5、新年度に向けてスタッフが与えられ、カリキュラムなどを整えていけるように。



のあインターナショナルスクール スクール通信 2月号

2026.Feb.1

VOI.221

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「神さまは私の祈りを忘れない」

中学部副担任 中上光衣

スクールでは月2回ほど朝に小学生から高校生までが集まって「合同バイブルタイム」をしています。宣言のみことばを、声を合わせ讃美し、生徒が証し、最後にお祈りをします。彼らが生活のどのような場面で神さまが生きておられるのか、そこから学んだことをみことばから語ります。生徒の証では毎回心を動かされます。

1月の証では、主に「神さまが祈りを聞いてくれた話」3つのエピソードを用いて語られました。そして証の最後では、「私たちはたくさん祈るが、その祈りを忘れてしまっていることはないだろうか、神さまはあなたのたった一度の祈りも覚えてくださり、答えてくださる方、祈りを忘れないように神さまを見続けていくことが大切である」と言ったのです。その証から生徒と神さまの関係が生き生きしている姿に励まされたのと同時に私はその時、心にグサッと刺さるような感覚もありました。

私は5年前あたりからジャーナルというのを始めました。毎日ではありませんが、手帳に神さまや人、経験から学んだことや葛藤していること、祈りの課題や自分がこれからこうなっていきたい姿を綴ります。このジャーナルは私の神さまへの祈りでもあります。そして、時々、綴ったノートを見返しては神さまがこれまでどのように導いてくれたのかを振り返ります。辛い状況にいる時にも書くことをやめず、時には涙で文字が滲むくらいに必死に綴ったページもありながら、これが必ず次の何かにつながることを信じて書き続けました。その時には目の前にあることしか見えず物事を点でしか捉えられない状況から、数時間後、数週間後、数年後単位で答えられたことも数年分のジャーナルには書かれており、「神さまって本当に生きているんだ！」という確信が増し、さまざまな点と点の出来事が一つの線に繋がっているんだということを知ることができます。

神さまは私たちのたった一度の祈りも無駄にせず、祈りは神さまの元に必ず届けられています。小学生の時に「教会に学校ができますように」と神さまに捧げたたった一度の祈りも神さまは無駄にしませんでした。

時に私たちは気分が良い時、悪い時であってもこれまで与えられていた恵みや当たり前になりすぎていて忘れてしまっている感謝があるのではないのでしょうか。神さまがどれだけ大きく、偉大な方であるのか、向き合ってみないと、見続けてみないと、見えない世界はたくさんあるのだと感じさせられます。

「女が自分の乳飲み子を忘れるだろうか。自分の胎の子をあわれまないだろうか。たとえ、女たちが忘れても、このわたしは、あなたを忘れない。」 イザヤ書 49章 15節

2月のカレンダー

日	月	火	水
1日	2日 0先生誕生日	3日 味噌作り体験 (小学部 2、3限)	4日 合同礼拝(1限) ほのぼのコンサート参加(小学部 10時~11時 野七里ケアプラザ) でい・さろん泉交流会訪問(高等部 2~4限) 委員会活動(6限)
8日 スクール法人化祈り会 第3礼拝後レインボーホール	9日	10日	11日 建国記念の日
15日	16日	17日	18日 学校法人化のための祈り会(1限) → 特別授業(2、3限) 内科検診<再>(午後) クラブ活動(6限)
22日	23日 天皇誕生日 Mさん、M先生誕生日	24日	25日 4限授業(13時40分下校) 学部別礼拝(1限) 特別授業(中・高等部 2、3限)

- ・ 3日(月) 2、3限、小学部は、西田先生のお宅で、味噌作り体験をします。
- ・ 4日(水)、小学部は、野七里ケアプラザで行われる地域交流イベント「ほのぼのコンサート」に参加します。また、高等部は、でい・さろん泉を訪問し、交流会を行います。祝福をお祈りください。
- ・ 6日(金) 午後、日本漢字能力検定を、本校を会場にして実施します。小学部から高等部まで24名が受検します。準備してきた力が十分に発揮されるようお祈りください。なお、下校は、8級~10級受検者が14時40分、7級以上の受検者が15時15分、未受検者の下校は13時35分です。
- ・ 12日(木)~18日(水)は、学年末テスト週間(中高等部)です。生徒の皆さんは学習した内容をもう一度確認し、テストに臨んでください。ご家庭におかれましては、励ましをお願いします。
- ・ 12日(木) 1、2限、小6は、校外学習として、あーすぷらざ(本郷台)の国際平和展示室を見学します。
- ・ 18日(水)、25日(水)は、特別授業として、性教育を行います(小学部は18日のみ)。性について聖書の価値観を身につけていきましょう。
- ・ 18日(水)、内科検診<再>を行います。6月に受診しなかった生徒が対象です。対象者については、担任よりご連絡します。
- ・ 年度末にあたり、25日(水)、26日(木)、27日(金)は、4限授業です。水曜日は13時40分下校、木・金曜日は14時下校です。
- ・ 26日(木)、小6は、社会科見学で、平和記念展示資料館、都庁(新宿方面)を見学します。
- ・ 26日(木)、歯科検診<再>を行います。7月に受診しなかった生徒が対象です。対象者については、担任よりご連絡します。
- ・ 27日(金)、中学部は、卒業記念行事を行います。詳細は後日、連絡します。
- ・ 28日(土) 9時30分~11時20分、クリスタルチャペルにて、新年度保護者説明会を行います。新年度スクールに在籍される生徒の保護者の皆さんは、ご出席ください。また、11時30分~12時、保護者・スタッフ清掃を行います。年度末、日頃行き届かなかった箇所を清掃し、クリスタルチャペル(スクール)をきれいにして、新年度を迎えたいと思います。ご協力をお願いします。

木	金	土
5日	6日 漢字能力検定（午後）	7日
12日 校外授業（小6 1、2限 あーすぶらざ）	13日 資金作りのための作業手伝い	14日
← 学年末テスト週間（中・高等部）		
19日	20日	21日
26日 4限授業（14時下校） 歯科検診<再>（午前） 社会科見学（小6 新宿方面）	27日 4限授業（14時下校） 卒業記念行事（中学部）	28日 新年度保護者説明会・保護者スタッフ 清掃（9時30分～）

- ・ 資金作りのための作業手伝いを13日（金）10：30～14：30（軽食あり）、別館にて行います。ご都合の良い時間帯にご参加ください。問い合わせは鈴木桜子まで。

子育てnote

・・・あなたは高価で貴い（イザヤ書43章4節）

一人ひとりの存在が、高価で尊いのです。

私の人生において幸いだったことは、父の再婚(私が小5の時)によって、家にやってきた新しい母親がとても誠実な、喜怒哀楽の豊かな、私の思いを受け入れ、そこに彼女自身の思いを分かち合って、励ましてくれる女性だったことです。その母親とのやり取りを通して、私は自分自身に尊厳が与えられ、友人関係や勉強面において、徐々に手応えを感じるようになっていきました。結果として学年が進むごとに、私の成績と様々なことに取り組む上でのやる気は、益々向上していったのです。そんな感じで自分自身の頂点を目指して歩んでいた私のことを、中3の私のクラス担任の先生は、「怪物」と呼んでくれました。これがもし、私の親が、我が子の学校の成績に対して高い基準を持っていて、どんなにいい点数を取っても、褒められることなく、お前はまだまだダメだとコメントするような親のもとに育っていたら、私は萎縮してしまっていたでしょうし、自分に関して、肯定的な思いを持つことができなかったであろうと確信します。

親が自分の子どもに対して、肯定的な目、肯定的な意識を持つことは、子どもがその子らしい、その子にふさわしい人生を生きるためにとても必要なことです。その子どもが、自分自身を肯定的に捉えるようになって成長していくからです。親がわが子を見る目は、子ども自身が自分自身を見る目になっていくのです。成績や人間性に関して、親の持つ様々な価値基準は、子どもがどのような基準によって自分を測り、自分と取り組んでいくかの自意識を形成していく上で、強い影響を与えます。自分自身を肯定的に捉えることができる人は、この社会をも、また自分が置かれた環境も、肯定的に受け止めることができるようになります。反対に、自分を肯定的に受け止めることができない人は、どんなに能力があっても、生きづらい、うまくいかない人生を生きることになります。生活の中から、特に親子関係の会話の中から、できる限り否定的な言葉や、けなす言葉、責める言葉を取り除いていきましょう。そして、互いに対して、肯定的な思いと語り掛けをもって、日々の生活を楽しく生きていきましょう。